OWNER'S MANUAL

ステージモニターアンプ

1705 II

この度は1705 II をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、必要なときにご覧になれるよう大切に保管しておくことをおすすめします。

1705 II 取扱説明書

目　次

安全のために
- 安全上の留意項目……2
- 特　長……4
- 本体のお手入れについて……4
- 開梱時のご注意（付属品について）……4

名　　称
- 各部の名称および機能•前面パネル……5
- 各部の名称および機能•背面パネル……5

準　　備
- 接続の方法……6
- スピーカーとセレクタースイッチの使い方…6
- 外部の機器との接続のしかた……7

共　通　操　作
- 電源ON/OFFの方法および音量調節のしかた…8

録　　音
- 外部の録音機器に録音させる方法……8

そ　の　他
- 付属品の使い方……9
- 故障かな?と思ったら……10
- 故障の場合のお問い合わせ先……10
- 寸法図……11
- 仕　様……11
- 保　証……11

※説明の便宜上、イラストは原型と異なる場合があります。

安全上の留意項目

ご使用前に、この「安全上の留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。
以下の内容に反した使用により損害が発生した場合、当社は責任を負いかねます。

絵表示について

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ **注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

表示例

- ⚠ △記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
- ⃠ ⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。（左図の場合は分解禁止を意味します）
- ❗ ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

⚠ **警告**	電源プラグをコンセントから抜け	●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。 ●万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 ●万一内部に異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	⚠	●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	水場での使用禁止	●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	使用禁止	●雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。
	⃠	●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。 ●この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。 ●この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
		●万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠警告

通風孔のある機器のみ

●この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。
この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪いところに押し込む。
テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。

●この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなど に入れるときは、機器の天面から 2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。
コードに傷がついて火災・感電の原因となります。

●この機器の通風孔、カセットテープの挿入口、ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●この機器の上に花びん、植木鉢、コップ 化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

分解禁止

●この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

●この機器は改造しないでください。火災・感電の原因となります。

●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加工したりしないでください。コードが破損して 火災・感電の原因となります。

⚠注意

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に 置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
●電源コード、スピーカーコードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
●窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災・感電の原因となることがあります。
●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●電源を入れる前には音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

●旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
●おの手入れ際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

●5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長時間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

●移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

特　長

アルミダイキャスト製の強固なボディ

●放熱効果を高めると同時に、音の濁りの原因となる共振や振動をシャットアウトしました。

使いやすいREC出力端子を装備

●CDなどの高音質を損なうことなく録音できるように入力信号をダイレクトに出力するREC出力端子を備えました。

小型スピーカーとのマッチングを高めるアクティブイコライザーを内蔵

●101シリーズとの組み合わせを考えて、専用のアクティブイコライザーを内蔵しました。その性能をフルに引き出し､ダイナミックなサウンドを実現します。

左右の音量を別々に調整できる左右独立ボリュームを装備

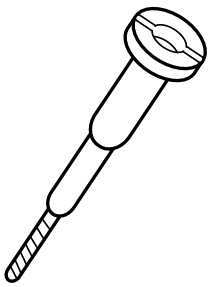
●L,Rの音量を独立して調整できるので独立2chアンプとして使用できます。

本体のお手入れについて

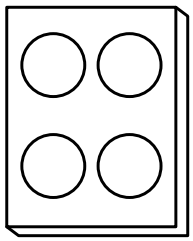
通常は、やわらかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときには、中性洗剤を水で薄めた液にやわらかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコール、化学薬品を使用すると表面が侵されたり文字が消えたり外装ムラになることがありますから絶対に使わないでください。また、スプレー式の殺虫剤や消臭剤、芳香剤などもかからないようにご注意ください。

開梱時のご注意

付属品を確認してください（付属品の使い方は9 ページをご参照ください）



本体固定用サポートネジ×2本



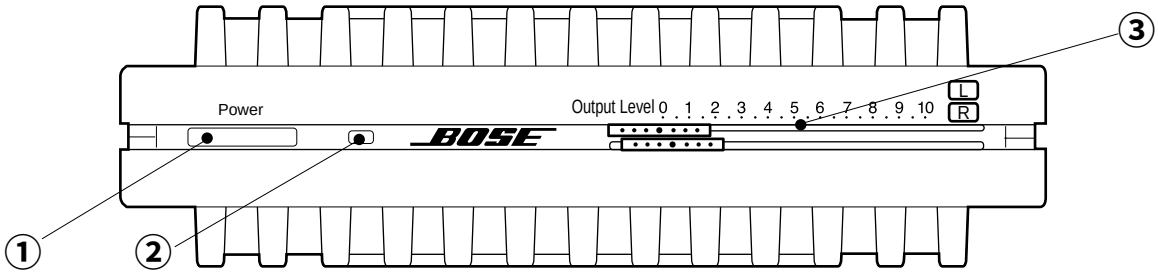
フェルト脚×1セット

※オーディオピンケーブル、スピーカーケーブルは付属しておりません。別途ご用意ください。

スタンド固定用ナット×2個

もし、開梱時に損傷などが発見された場合や内容物が不足しているときは、そのままの状態を保ち、ただちにお買上になった販売店までご連絡ください。そのままでのご使用はおやめください。

各部の名称および機能 前面パネル



①POWER（電源）スイッチ

電源のON/OFFを行ないます。押し込むとONになります。もう1度押すとスイッチが出てOFFになります。

②POWERインジケーター

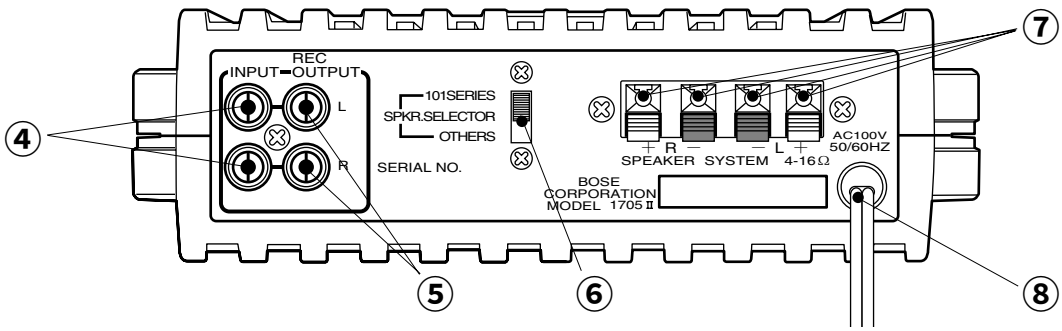
電源がONになるとインジケーターが点灯します。

③Output Level（音量）調整つまみ

このつまみで音量を調整します。1レベルから10レベルにスライドさせることにより音量が大きくなります。上側がLch下側がRch用のつまみです。

※過大入力によるスピーカーの破損を防ぐため、電源をON/OFF する際は、必ず音量調整つまみを最小の位置にセットしてから行ってください。

各部の名称および機能 背面パネル



④音声信号入力端子

音声信号を入力する端子です。CDプレーヤー、カセットデッキ、プリアンプ、チューナー等の出力を接続してください。

⑤REC OUTPUT(録音用信号出力）端子

本機を直列に接続して使用するときの出力として、また、外部の機器で録音するための音声信号出力端子です（音量調整つまみとは連動していません）。

※この端子は、入力端子と並列に接続されていますので、ラインアンプ等は、入っておりません。したがって、この端子に入力インピーダンスの低い機器を接続すると、レベルが下がることがあります。

⑥SPKR.SELECTOR(スピーカーセレクター）スイッチ

使用するスピーカーに合わせて専用のイコライザーを選択するためのスイッチです。101SERIES、OTHERSの2ポジションがあります。

⑦スピーカー出力端子

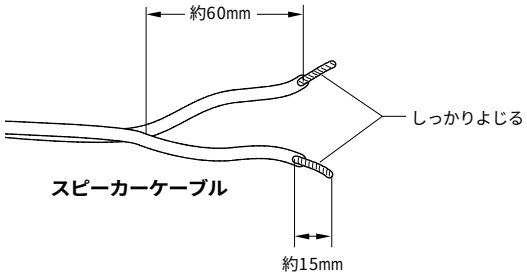
プッシュターミナルを使用しています。スピーカーからのケーブルをこの端子につなぎます。スピーカーケーブルを簡単確実にとめることができます。対応ケーブルは、0.5sq～1.25sq（mm^2）です。

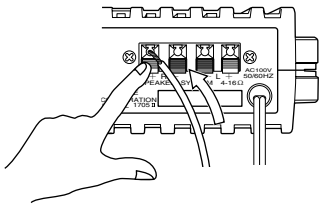
⑧電源コード

商用電源100V 50Hz/60Hzに接続します。

接続の方法

※すべての接続が終わるまでは、電源ケーブルをコンセントに差し込まないようにしてください。
※音量調整つまみは、最小の位置にしておいてください。





ケーブルと端子の接続

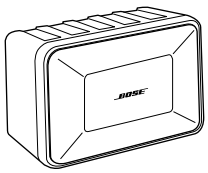
1. スピーカーケーブルの先端の被覆をはがします。
2. スピーカーケーブルをつなぎます。
   スピーカー出力端子にスピーカーケーブルの先端を挿入して確実にとめてください。
   対応ケーブルは、0.5～1.25sq（mm^2）です(sqは、断面積です)。

●スピーカーケーブルは、スピーカーの⊕側端子とアンプの⊕側端子に、スピーカーの⊖側端子とアンプの⊖側端子に接続してください。極性は間違えないようにしてください。接続の際、スピーカーケーブルの芯線が端子からはみだしたりして他の端子に接触しないように注意してください。

※スピーカーケーブルの極性（⊕、⊖）を間違えますと、音の定位がフラついたり低音が出なくなったりします。

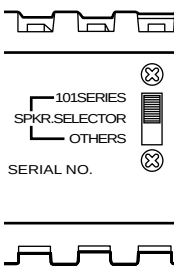
スピーカーとセレクタースイッチの使い方

101MMシリーズのスピーカーを使用する場合



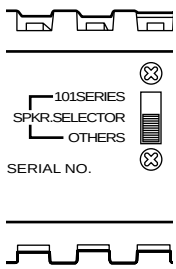
101シリーズ

SPKR. SELECTOR（スピーカーセレクター）
スイッチを101シリーズ側に合わせます。



101MMシリーズ以外のスピーカーを使用する場合

SPKR. SELECTOR（スピーカーセレクター）
スイッチをOTHERS側に合わせます。

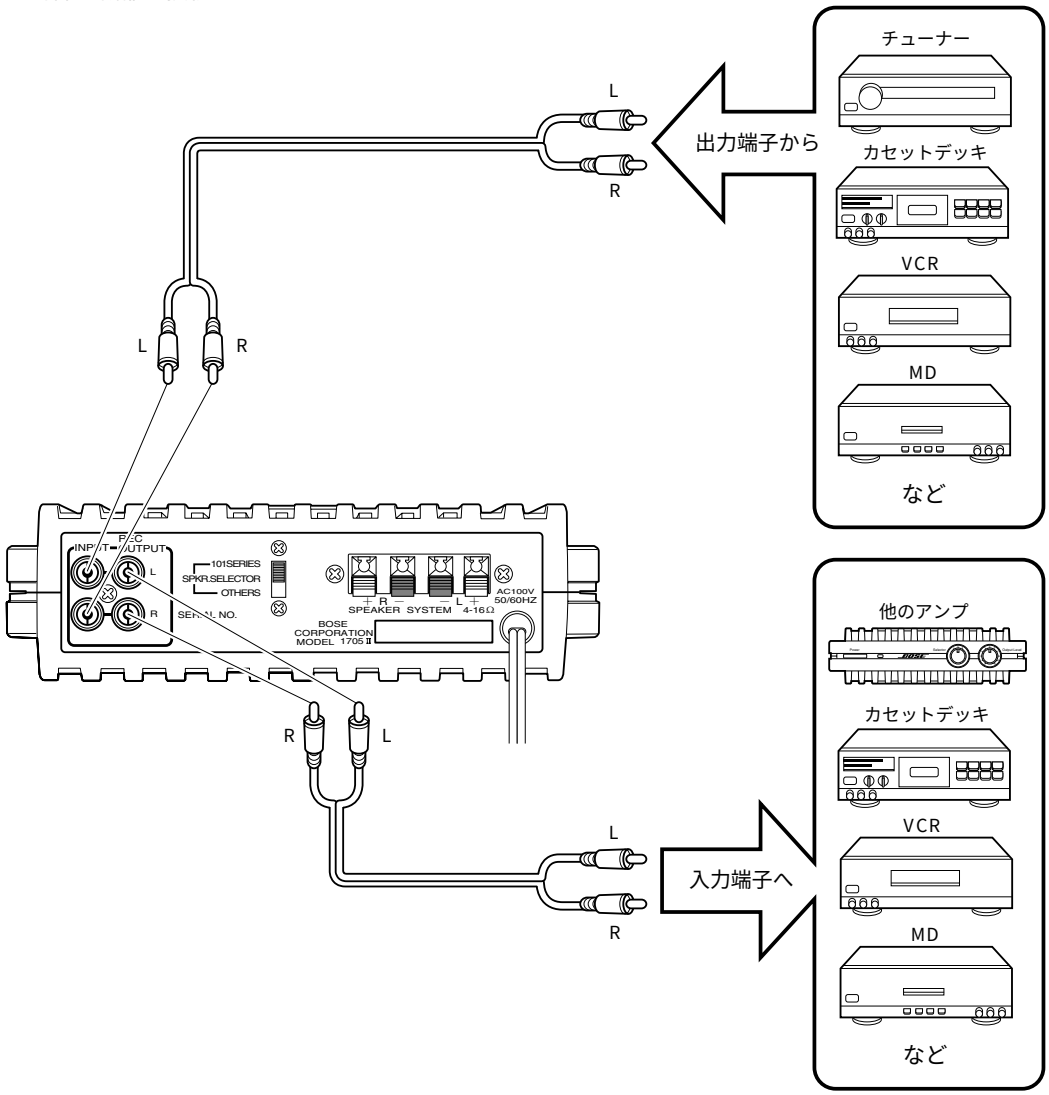


外部の機器との接続のしかた

※すべての接続が終わるまでは、電源プラグをコンセントに差し込まないようにしてください。
※電源を入れる前は、必ず音量調整つまみは、最小の位置にしておいてください。

入力端子に外部機器をつなぐとき

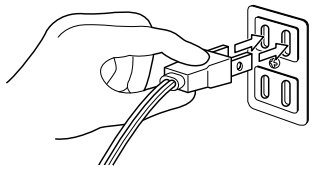
背面パネルの音声信号入力端子にオーディオピンケーブルを
使って外部の機器を接続します。



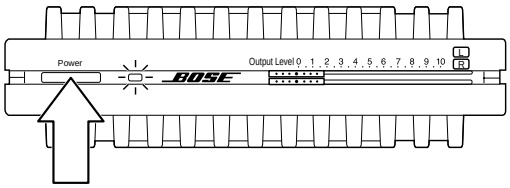
電源ON／OFFの方法および音量調節のしかた

※すべての接続が終わるまでは、電源コードをコンセントに差し込まないようにしてください。
※スピーカーケーブルの接続に間違いがないかもう一度確認してください。
※電源を入れる前は、必ず音量調整つまみは、最小の位置にしておいてください。

電源プラグをコンセントに差し込みます。

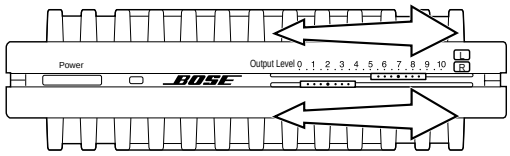


電源をON／OFFする方法



電源がOFFしているときにPOWER（電源）スイッチを押すと電源が入りインジケーター点灯します。電源がONしているときにPOWER（電源）スイッチを押すと電源が切れてインジケーターも消灯します。

音量調整のしかた



VOLUME（主音量調整）つまみを、右方向にスライドさせると音が大きくなます。左側にスライドさせると音が小さくなります。上側がLch、下側がRch用のつまみです。

外部の録音機器に録音させる方法

REC OUTPUT端子からでる信号は、入力端子につながれている音源となる機器（CDプレーヤーなど）の信号が出力されます。

1. 録音したいソースを、背面パネルの入力端子に接続します。

※背面の入力端子に音源となる機器（CDプレーヤーなど）が確実につながれていることを確認してください。

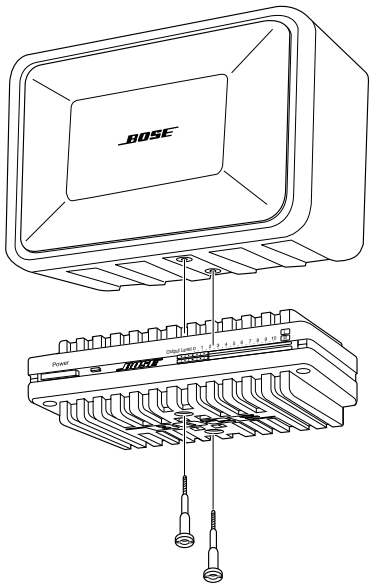
2. 録音するための機器（カセットデッキなど）の入力端子と本体のREC OUTPUT端子を市販のオーディオピンケーブルで接続します。

（外部機器の操作については、その機器の取扱説明書をよく読んで正しく操作してください）

付属品の使い方

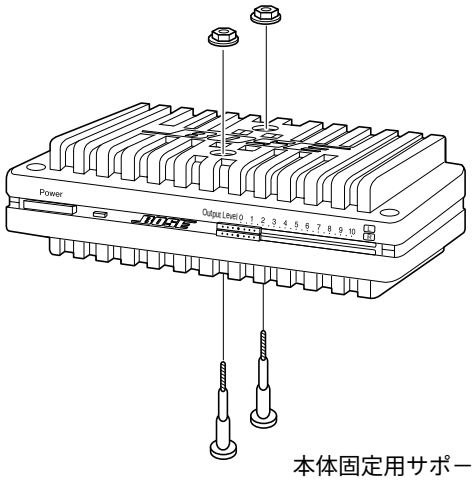
本体固定用サポートネジとスタンド固定用ナットの使用方法について

◆101シリーズと一体化する方法

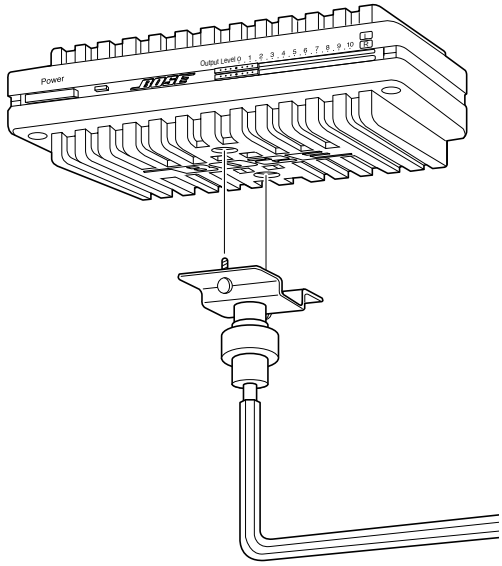


本体固定用サポートネジは、本体パワーアンプと、101シリーズのスピーカーなどを一体化するときや、このアンプを金具に固定するときに使用します。

◆スタンドなどの金具に固定する方法



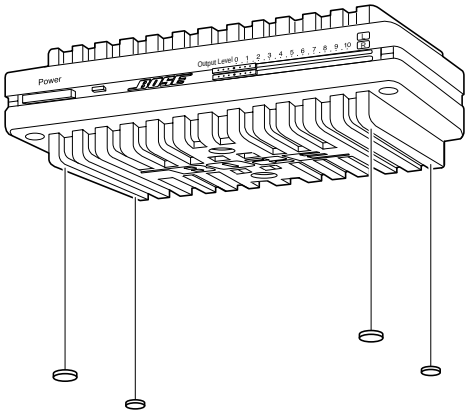
本体固定用サポートネジを図のようにナットで固定します。



取り付け金具のネジと本体固定用サポートネジを合わせて固定します。

フェルト脚の使用方法について

テーブルや、台の上におくときなどに使用します。使用方法は、アンプの底の部分に4箇所安定するように張り付けます。



故障かな？と思ったら

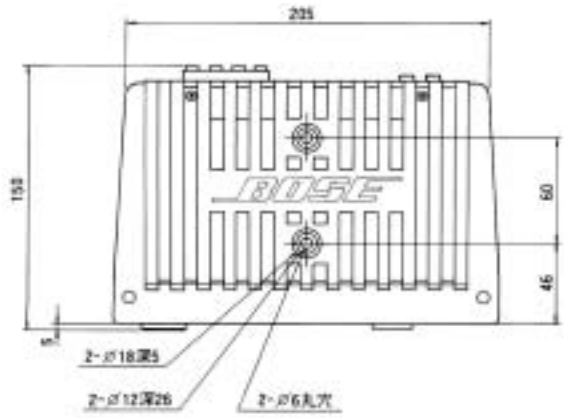
症　　状	原　　因	処　　理
電源を入れても音が出ない	スピーカーケーブルまたは接続コードがはずれている。	接続を確認する。
	ボリュームが最小になっている。	ボリュームを右にスライドさせる。
片側だけしか音が出ない	スピーカーケーブルまたは接続ケーブルの一方がはずれている。	接続を確認する。
ブーンという音が出る	接続ケーブルの接触不良。	しっかりと接続する。
楽器の位置が不安定	片方のスピーカーが⊕,⊖逆に接続されている。	正しく接続する。

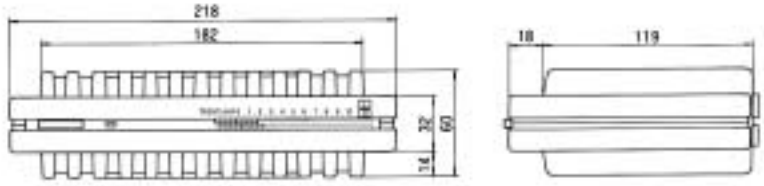
故障の場合のお問い合わせ先

故障および修理のお問い合わせは、ボーズ・サービスセンター株式会社　☎ 042-357-5250
住所 〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル

製品等のお問い合わせは、ボーズ株式会社インフォメーションセンター　☎ 03-5489-0955
まで、ご連絡ください。

寸法図





（単位）=mm

仕　様

適合負荷インピーダンス	：	4～16Ω
定格出力	：	20W+20W(4Ω、1kHz、0.1%THD)
S N 比	：	90dB以上(IHF-A)
全高調波歪率	：	0.1%以下(4Ω、1kHz、20W)
入力感度	：	150mV
入力インピーダンス	：	11kΩ
電源電圧	：	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	：	50W
入力端子	：	LINE/ステレオ１系統RCAピンジャック
出力端子	：	LINE/ステレオ１系統RCAピンジャック SPEAKER/ステレオ１系統スナップインターミナル
EQ切り換え	：	2ポジション(101、Others)
外形寸法	：	218(W)×60(H)×150(D)mm
質量	：	2.6kg

保　証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

Better sound through research®

ボーズ株式会社

http://www.bose.co.jp/

〒150-0044　東京都渋谷区円山町28-3　渋谷ＹＴビル　ＴＥＬ03-5489-0955

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご了承願います。

OM-1116
04･11-F-C･1(I-M)